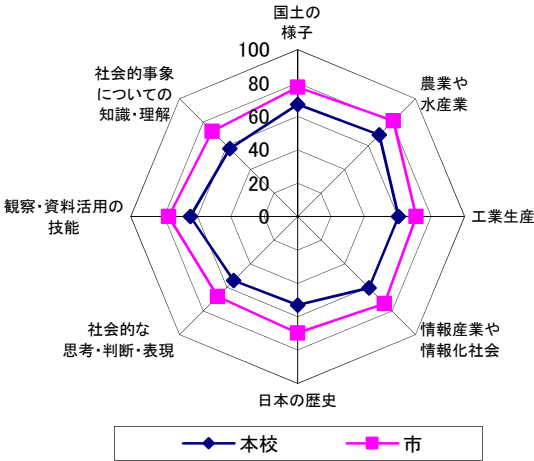


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	67.2	77.5	74.0
	農業や水産業	69.3	81.1	73.7
	工業生産	60.5	71.1	73.5
	情報産業や情報化社会	60.5	73.7	63.2
	日本の歴史	53.1	69.7	73.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	54.2	67.7	63.1
	観察・資料活用 of 技能	64.3	77.3	75.5
	社会的事象についての知識・理解	57.5	72.2	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	本校の平均正答率は、市の平均と比べると低い。 ○日本の周囲の国の国旗を選択する問題は、他の問題と比較すると正答率が高い。 ●資料を参考にしながら自分の言葉で表現する問題の正答率は、52.4%と市の平均より19.8ポイント低い。	・自分の考えを言葉で表現する問題について、無回答率が多く、苦手である。資料から読み取れることや、授業の内容を言葉でまとめる活動を取り入れることで、考えを表現することに慣れさせたい。
農業や水産業	本校の平均正答率は、市の平均と比べると低い。 ○米の生産がさかんな地域を図から読み取る問題は、他の問題と比較すると正答率が高い。 ●複数の資料から読み取り、考えて自分の考えを記述する問題の正答率は64.8%と市の平均より18.3ポイント低い。	・資料を読み取り、読み取ったことから考えられることを文章にまとめることが苦手であり、無回答率も多い。グラフや表などの資料が出てきた時に、どのようなことが読み取れるかを丁寧に扱っていくことで、苦手意識を少なくしたい。
工業生産	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○化学工業の製品について答える問題は、他の問題と比較すると正答率が高い。 ●工業地帯・工業地域の立地について資料を読み取り考える問題の正答率は、61.0%と市の平均より13.2ポイント低い。	・資料を読み取り、読み取ったことから考えられることを自分の言葉で書くことが苦手である。また、漢字で書くなどの条件を指定されることで、さらに苦手意識が強くなる傾向がある。図やグラフを丁寧に扱うことや、考えたことを文や言葉で表現させることで、苦手意識を少なくしたい。
情報産業や情報化社会	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○情報ネットワークのしくみについて資料を読み取り、選択する問題の正答率は他の問題と比較すると高い。 ●身のまわりのメディアについての表の空欄に言葉を入れる問題の正答率は56.2%と市の平均より15.1ポイント低い。	・自分の今ある知識の中から言葉を選び出し、漢字で書くことが苦手である。新聞や雑誌など身近ではない内容が含まれるため、新聞や雑誌などに触れさせる場を設ける。
日本の歴史	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○織田信長についての資料を読み取る問題は、他の問題と比較すると正答率が高い。 ●日本文化についての問題の正答率は37.1%と市の平均より28.7ポイント低い。	・歴史に関する用語についての定着が不十分である。定期的に復習することで定着を図りたい。